



Central TIMES

JY・6年生増刊号 2004. 1. 10

JY・6年生合宿 2003 12/13・14 スコアレ若宮

子供たちにとっては待ちに待った合宿でした。まるで男子校の修学旅行気分。30余名の男が床を同じにするなどあまり美しい光景だとは言えないかも知れませんが、子供たちにとっては忘れられない思い出になったことでしょう。TMの相手も、以前、前半の3点リードをドローに持ち込まれた香月、楠橋杯では涙を飲まれた穴生、強豪神理・川崎と相手としては気の抜けない対戦でした。

【1日目 トレーニングを終えて】

ちっちゃいコートでボールを受けたりキープしたりするのが難しく戸惑った。こういうときに「技術」が必要だと思った。でも、とても楽しかった。(小泉)

試合の準備の時に、おじちゃんたちが手伝ってくれたのでかなり助かりました。それでも、もうちょっと早く準備ができた気がするので気を付けたいです。(飛松)

会場準備で練習時間が少なくなってしまった。勝つためには練習が必要だけど、準備で大切な時間を使うのはもったいない。だから、ふだんの練習でもダラダラせずテキパキ動き練習次官を少しでも多くしたい。(太田聡)

ゲームが終わると、風呂に入って食事。疲れた中でごはんを5杯もおかわりをした子もいるそうで、頼もしい限りです。



【1日目 ミーティングを終えて】 ~九州少年サッカー大会に向けて~

セントラルは、もうちょっと生活習慣5カ条に気を付けた方がいいと思います。特にあいさつと自分のものの管理です。それは、帰りの時にかなり忘れ物があったからです。(飛松)

九州大会予選までにはできることはやって、メンバーに入りたいと思った。(松井)

九州少年サッカー大会では守備から攻撃へすぐに切り替えたりもうちょっと1対1を強くなる練習をして優勝したいと思いました。(太田晋)

九州少年サッカー大会に出られるように、努力したいと思います。(鷲峰)

筑前支部で勝ち抜いて、県大会に行きたいと強く思った。(田中初)

思えば九州少年サッカー大会まで1ヶ月しかないなあと思った。それまでに技術や生活面でも強くなりたいと思った。春の合宿の時のミーティングを思い出せてよかった。(小泉)



【1日目 ミーティングを終えて】 ~U-12に求められるもの~

このミーティングで「親や自分たちの生活を支えてくれている人への感謝の気持ちを持つ」という話を聞いた。全ての人に「ありがとう」と言いたい。(福田)

手伝ってもらった時や送りむかえをしてくれる親に言葉で言葉で言うのはむずかしいけど、結果を出すという簡単なことでもいいので、九州大会はそういう意味でもがんばりたいです。(飛松)

ビデオの日本対ブラジルの試合を見て、とにかく1対1がブラジルはとても強いと思った。あと、数的優位的时候は、うまくそれを使いたいと思った。また、「ゴールにパス」というのが印象に残った。(小泉)

今の自分たちの世代に求められるもの、それは自分で考えることだと思う。自分で考えて動くことで考える力がつく。これは何事も吸収されやすい今やるべきことだと思う。(太田聡)

若松の試合で近くから強くけてパーの上をこして得点にならなかった。ゴールにパスするつもりでいけないと改めて思った。(樋口)

日本対ブラジルの試合を見て、ブラジルは1対1が強く寄せがすごく速かったです。やっぱり強いチームは1対1などが強いと思いました。(太田晋)

夜は寝るわけがありません。Hくん、Tくん、Yくん、Oくん、Kくんらは午前2時を過ぎてもまじめに起きていたそうで、まさに優等生です。ちなみに一番早く寝たのがFくんらしく、さすがに年の功です。コーチはと言うと、子ども達とともにタコ部屋で一緒に寝て、これまた見上げた人物ですが、それと言うのもYくんとWくんにベッドを占領されたからだとかで、でもさすがに人間ができています。

翌朝は無言を言わず6時30分から朝の散歩。終わると食事で9時30分からはゲームの連続。「昨日の睡眠不足が今日のゲームに影響することは必至だ。」という保護者の「それ見たことか」というやさしい心配をよそに結果を出せた子ども達。結構やってくれました。

【2日目 トレーニングマッチを終えて】

3試合やって1敗2分けだった。次の試合は、絶対勝つ。(福田)

神理に3-1は、正直うれしかったです。だいぶ自分たちの形ができてきたので、それに結果がついてきたんだと思います。(飛松)

穴生としたとき、でかいフォワードがいてやりにくかったけど、神理の方がちっちゃくてもとても技術があって、技術が大切だと思った。あと、とても体力がないと思った。(小泉)

トレーニングマッチでは、負けたことのある穴生や北九州の強豪神理等というチームと対戦した。結果は全勝。セントラル全体が強くなったと改めて実感した。九州大会に向けて大きい自信になったと思う。自分自身はちょっと攻撃意識が足りなかったと反省している。(太田聡)

1日目はだったけど、2日目はBチームになってくやしかった。Aチームでも余裕のあるプレーをしたい。Aチームのレギュラーをうばって試合に多く出たい。(松井)

一度負けた穴生との試合は何とか勝てた。相手は5年生主体のチームなのに1-0なんてはずかしいなあと思った。神理戦は自己満足になるけど得点を入れてよかった。相手は寄せが本当に速かった。神理戦の1点も気のゆるみからだと思う。(樋口)

神理に勝てたときはとてもうれしかった。ボールを遠くに飛ばすことができなかった。フルに出られてよかった。(田中初)

もっといろいろなチームと試合をしてみたいと思いました。(鷲峰)



九州大会、まずはVITORIA戦だ。恐れず、積極的に攻めていこう。

